

意見発表

北川稷一 東京都昭島市長



今日は年末に向けまして、何かとお忙しい中、遠方からのご出席、誠に苦

労さまでございます。全国街路事業促進協議会の会長であり、東京都知事がご案内のように不在でございますので、本協議会を代表して私の方から意見を



清水裕 愛媛県大洲市長

大洲市は松山から約40kmに位置しております。伊方の原子力発電所、これからの役割を發揮したこともあり、命を守り命を繋ぐ道路の重要性が再認識され、全国的にミッシングリンクな

都知事を会長として約1000団体で構成しております。当協議会では、都市計画道路の速やかな整備と充実を図るため、補助金拡大に向けての政府への要請に取り組みなど、積極的に活動に努めてまいりました。

現在、昭島市が力を入れております町づくりの事業の1つとして、昭島市の西の玄関口、交通結節点でございます。拝島駅南口の周辺整備でございます。拝島駅の橋上駅舎が平成19年8月に、また南北自由通路が平成21年3月に完成をいたしました。同時期に事業化された駅前広場を含みます昭342号も、おかげさまで現在、用地取得率が約98%にまで達しております。更には、この駅前広場には地下駐輪場、地下自転車駐車場の同時に進めていくこととございます。

「昭342号」は更に2つの都市計画道路に接続をいたします。今後のまちづくりを進めていくためには、一自治体の財源だけでは到底実現できるものではありません。平成25年度以降の道路予算につきましても、削減することなく、地方の要求額の全額確保を図っていただくことが前提となっております。

馬場成志 熊本県議会議長



本県では去る7月に、これまで経験したことのないような大雨と豪雨に見舞われ、県内各地に極めて甚大な被害が生じました。その際、全国の皆さんから大変なご支援をいただきました。この場をお借りしまして、心から感謝を申し上げます。

この九州北部豪雨では、道路においても大分と熊本を結び、地域の生命線となる阿蘇市の国道57号で長期の通行止めが発生しました。災害直後の救助活動や、その後の復旧活動に支障を来すとともに、観光への打撃や住民生活への影響は多大なものであります。

再びこのような事態が発生しないよう、災害時にも機能する信頼性の高い道路の必要性を実感いたします。一方、東日本大震災においても、一くしの歯一作戰により迂回路や緊急輸送路として高速道路の果たす役割がクローズアップされたところでもあります。南海トラフ巨大地震や最近頻発する豪雨、土砂災害などに被災した場合を念頭に、九州の道路体系を熊本県側から見ると、西側における一くしの歯の軸として九州縦貫自動車道が既に全線が供用済みであります。鹿児島県へ繋がる南九州西回り自動車道や、東側の軸となる東九州自動車道はまだ繋がっていない状況であります。

決意文朗読



清水ひろ子 兵庫県播磨町長

決議

平成二十五年度の道路予算については、削減することなく概算要求額の全額確保を図ること。

一、高速道路から生活道路まで、地域が真に必要とする道路の整備を計画的かつ着実に進めるとともに、道路利用者の意見を十分反映した道路整備を行うこと。

一、国際競争力の強化と災害リスクの低減に資する基幹ネットワークの整備による、国土のミッシングリンクを早期に解消すること。

一、大規模な災害に対応するため、災害に強い広域ネットワークの形成や広域的かつ機動的な危機管理体制の確保を、国の責任において図ること。

一、社会資本の老朽化に対応するため、橋梁等の既存道路ストックの適切な維持管理・更新に必要な財源を別枠として確保すること。

一、社会資本整備総合交付金については、これ以上総額を減らすことなく必要額を確保し、かつ、通学路の交通安全対策等の国民生活に直結する事業に対しては、優先的に配分すること。

一、道路整備をはじめとする地方における社会資本整備に対する支援の地域自主戦略交付金化については、市町村との協議が整わない場合には導入しないこと。

平成二十四年十一月二十九日

安全・安心の道づくりを求める全国大会